

2020年度 カントリーダンス・インストラクター / コントラダンス・プロンプター-DATABASE調査票

記入日:

修正日:

項目番号1～12、16、17、19、20には適当な文言又は数字を記入ください。

項目番号12～18、21～22には該当の記述に を記入ください

(*裏面に注意書きあり)

コーラーキューア-DB登録番号
<S協事務局にて記入します>

1	団体番号				
2	所属クラブ名				
3	S協会員番号				
4	氏名				
5	ふりがな				
6	電話番号:	7	FAX番号:		
8	E-Mail	9	誕生年月(西暦)		
10	指導開始年(西暦)(注1)	11	指導経験年数(注2)		
12	日連指導者資格(注3)	種目 (SD・RD・FD・レク・日本民踊)		日連番号(9桁-6桁):	
13	S協ライセンス認定(注4)	・インストラクターコーチ ・シニアインストラクター ・インストラクター			
14	組織の役員等経験 (2018～2019年度) (注5)	S協全国理事・監事	S協専門委員会委員長・顧問・参与	統括支部役員	クラブ内の役員
		S協専門委員会委員	地区委員会、県連の役員	S協幹事	
15	組織の役員経験 (2017年度以前) (注5)	S協全国理事・監事	S協専門委員会委員長・顧問・参与	統括支部役員	過去2期以上S協全国理事・監事経験者
		S協専門委員会委員	ブロック、地区委員会、県連の役員	S協幹事	クラブ内の役員
16	ここ3年間でのゲストインストラクター経験	所属支部外パーティーで、ゲストの経験が1回ある	所属支部外パーティーで、ゲストの経験が2回以上ある	所属支部内パーティーで、ゲストの経験が1回ある	所属支部内パーティーで、ゲストの経験が2回以上ある
	当該パーティー名 (複数の場合は2件まで記入)	(年 月開催)	(年 月開催) (年 月開催)	(年 月開催)	(年 月開催) (年 月開催)
17	ここ3年間での講習会や研修会での講師経験	全国規模の講習会や研修会で講師を務めたことがある	統括支部が主催する講習会等で、講師を務めたことがある	ブロックや地区委員会が主催する講習会等で講師を務めたことがある	県連が主催する講習会等で、講師を務めたことがある
	当該講習会名/担当コース (1件のみ記入)	(年 月開催)	(年 月開催)	(年 月開催)	(年 月開催)
18	ここ3年間で初心者指導経験(注6)	ビギナー指導担当を務めたことがある。	一日講習会の講師を務めたことがある	学校で講師を務めたことがある	高齢者施設で講師を務めたことがある
		車椅子のダンサーに対して講師を務めたことがある	聴覚障がい者に対して講師を務めたことがある	視覚障がい者に対して講師を務めたことがある	知的障がい者に対して講師を務めたことがある
19	パーティー等で指導した経験/1年間(回) (注7)	20	指導回数/1ヵ月間(回)(注8)		
21	指導可能範囲	ラインダンス	パートナーダンス	カップルダンス(ツーステップ、ウェストコーストスウィング等)	コントラダンス
22	指導可能レベル	Beginner	Intermediate	Advanced	

- 注1：項目番号10「指導開始年」とは、指導を始めた年をさします。従って、都合で指導していなかった期間と関係なく最初に指導した年度をさします
- 注2：項目番号11「指導経験年数」とは、指導をした年数をさします。従って、都合で指導していなかった期間は除きます。
- 注3：日連番号は日連メンバーシップカードに記載の会員番号(9桁)、および"級・級番号"(6桁)をさします。
- 注4：所有しているS協ライセンスに○をつけて下さい。
- 注5：項目番号14～18、21、22については前回の調査で「」が付いていなかった項目には「×」が記入されています。
記入時点で就任している役員等です。2020年度から新たに役員等に就任される場合は、就任が決定した際にS協事務局に一報願います。
- 注6：「指導」とは「ダンサーに動作の説明指導を行うこと」をさします。
- 注7：2019年の1年間(1～12月)にアニバサリーその他自クラブ以外のパーティーに参加し、指導をした回数(1回指導でも複数指導をしても1回と数えます)。但し1日のうちで複数のパーティーに参加して指導した場合は複数回とします。
- 注8：一か月に何回くらいカントリーダンスやコントラダンスの指導をするか(毎週例会で2回指導するインストラクターは例会が月に4回あれば計8回)。
(例会、講習会等、所属クラブ以外での指導回数も加えます。)